

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却方法  
車両・・・定率法によっている。  
什器備品・・・定率法によっている。  
ソフトウェア・・・定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準  
退職給付引当金・・・期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
特定預金	101,050,000	137,500	90,047,500	11,140,000
投資有価証券	0	89,918,180	0	89,918,180
小 計	101,050,000	90,055,680	90,047,500	101,058,180
特定資産				
退職給与引当資産	13,506,555	1,881,483	1,323,055	14,064,983
小 計	13,506,555	1,881,483	1,323,055	14,064,983
合 計	114,556,555	91,937,163	91,370,555	115,123,163

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	（うち指定正味財 産からの充当額）	（うち一般正味財 産からの充当額）	（うち負債に 対応する額）
基本財産				
特定預金	11,140,000	(11,140,000)	( 0)	-
投資有価証券	89,918,180	(89,918,180)	( 0)	-
小 計	101,058,180	(101,058,180)	( 0)	-
特定資産				
退職給与引当資産	14,064,983	( 0)	( 0)	(14,064,983)
小 計	14,064,983	( 0)	( 0)	(14,064,983)
合 計	115,123,163	(101,058,180)	( 0)	(14,064,983)

### 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車 両	1,378,935	1,378,933	2
什器備品	173,250	97,453	75,797
ソフトウェア	1,634,115	844,651	789,464

5 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	2,694,553	0	2,694,553

6 満期保有の目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有の目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国 債	89,918,180	94,239,000	4,320,820

7 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
助成金 東日本大震災 芸術・文 化による復興支援ファ ンド	公益社団法 人企業メセ ナ協議会	-	343,863	343,863	-	-
芸術文化事業助成金	みやぎ県民文 化創造の祭典 実行委員会	-	300,000	300,000	-	-
合 計		0	643,863	643,863	0	

8 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金 額
経常収益への振替額 基本財産受取利息	884,103